

中学校統合情報

No.1

- 「夢のある 明るい中学校」をめざして -

<お問合せ・事務局>

富士見町教育委員会 子ども課 総務学校教育係

TEL : 0266-62-9235 (有)9235

e-mail : kodomo@town.fujimi.nagano.jp

平成 22 年 4 月の新しい中学校開校に向け、第 1 回富士見町中学校統合推進委員会が富士見高原中学校で 11 月 12 日開催され、中学校統合に向けての様々な協議がスタートしました。

委員会では、矢嶋町長から統合に向けての挨拶があり、また、小林委員長（教育長）から統合中学校の理念と構想が発表されました。

委員会後、委員会内に保護者、有識者などで構成する「校名」、「校歌」、「制服」など 8 つの部会に分かれ、各部長の選出、今後の話し合いの進め方などが話し合われました。

各部会は 1 月 1 回のペースで開催され、生徒、保護者、地域の皆さんのご意見も参考にしながら検討事項協議を行い、統合委員会で部会案の協議・総括を行い、最終的には教育委員会で決定します。

統合推進委員会では、検討の進捗状況などについて、随時お知らせします。

「富士見町中学校統合にあたって」

富士見町長 矢嶋 民雄



「富士見で育つ中学生をどんな環境に置くか」これは富士見町の全ての人々が知恵を絞らなければならない課題であります。

富士見町の中に色々な地域差があることは心配することではなく、町の特徴でさえあります。夫々がその個性を特徴として力を伸ばし、また力を競い合うことは殊に大事であります。しかし同じ町に生を受け、育っていく中でその環境、条件におおきなハンディ（不利な条件）が有ってはならないのは、誰から見ても当然のことです。出来る限り同じ条件の中で、夫々が力を競い合う環境が整えられなければならないと思います。

少子化の波の中で富士見の中学校では人数の偏りが顕著になってきました。人数の偏りは、教育環境として考えると、先生の数の配分など、一人一人の生徒に与える影響は無視できないものになります。

勿論少人数の利点もたくさんあります。しかし丁度育つ盛りに、是非必要な適度な競争の機会、また大勢でなければ出来ない課題への取り組み、等に不都合が生じてきます。

また同じ富士見町に育ちながら通う中学校が違うということだけで、共通の利益が受けられないということがあってはならないと思います。ここに中学校を統合しようという大きな動機があります。

同じ町に育つのに、生徒は同じ教育を受けたい。保護者は同じ教育を受けさせたい。私達町を預かるものは、同じ教育を受けさせてやらなければならない。ということでもあります。

長い間このことに関して、夫々の知恵を寄せ合ってきました。結果今日の結論にたどり着きました。この上は、この同じ教育を受けさせたいという目的に向かって「どうすればその目的がねらいどおりに行われるか」、どんな小さな課題も見落とすことなく、丁寧に

拾い上げ、何よりもここで教育を受ける生徒達が安心して日々が送れること、そのためによりよい環境が整えられるように力を尽くすことになります。

今までも、色々な場合に、小さな違いのために大きな目的を全て失ってきた世の中のあり方をいやというほどに見てきました。大きながれに逆らい、一番大事な「生徒によりよい環境を提供するという本筋を見失うこと」は厳に避けなければなりません。

同じ町に育つ生徒に同じ条件の環境を整えて提供する。という、この統合本来の意味から決して足を踏み外すことが無いように、心して事業の完成を目指したいと思います。

繰り返します。中学は対等に合併します。校舎は高原中が今使っているものを使います。したがって南中学の生徒は高原中学の校舎に移ります。念のために申し上げますが南中学の生徒は決してよその中学に入れてもらうではありません。あくまでも、新しい校舎に両中学の生徒が同時に入るのです。

勿論新しく中学生になる生徒と同じように最初は慣れないかもしれません。支えあって仲間として不慣れなところはお互いに教えあって欲しいと思います。全く新しく「富士見町の中学生が一緒に学ぶ中学校」を作るのです。そのために全ての人々が力を寄せ合う。それぞれの立場で夫々が力を尽くすと言うことです。

いま道は作られました。明日に向かって「種は蒔かれました」。育てるのはこれからです。

念のために申し上げます。明日がどうなるかわからない人が、種を蒔きますか？

育っていくことが間違いない若人のために種を蒔くのです。

心してこの道を、共に手を繋ぎあって、この事業の完成のために進みたいと思います。



新しい中学校のビジョンの探究 - 「夢のある、明るい中学校」をめざして -

中学校統合推進委員会委員長(教育長) 小林 洋文

来年度をもって南中学校並びに富士見高原中学校を閉校し、再来年度、平成 22 年 4 月から、まったく新しい統合中学校として開校することが決定されました。

統合はあくまで「対等な統合」を基本方針とし、大事にさせていただきたいと思います。委員の皆さんには、校名・校歌・校章・制服・通学方法等の各部会において、既存の中学校にとらわれず、真っ新(まっさら)な状態から検討を始めてくださるようご配慮をお願い申し上げます。

(中略・挨拶文は 9 ページあり、ポイントのみを掲載します。町 HP には全文を掲載しています。)

統合の準備過程で大事にさせていただきたいと私が思っている事を 4 点簡潔に申し上げます。

- 1 . 統合推進委員会、各部会では、過去の経緯にこだわらずに、富士見町づくりの将来像とも関わって、大所高所から将来を見据えた議論を自由闊達にお願いしたいと思います。
- 2 . 学校の主人公は生徒ですから、生徒の夢や希望、意見などを尊重しながら様々な事柄を決めていきたいと考えています。学校と相談しながら、車座集会で直接顔を合わせて話を聞くとか、手紙やアンケートなどで意向を聞き取るなどの工夫をしたいと考えています。
開校する前に何度も交流会を実施して、顔見知りになっておくことも大事なことです。親近感をもってスムーズに開校を迎えられるよう、配慮します。
- 3 . 教職員同士も、合同の職員会議や教科会などをもって、統合に向けて両校の足並みを揃えることも既に始めております。両校の校長・教頭・教務主任と私とで教育の理念や目標などを語り合っているところです。また、校舎の教室等施設設備面でも、新しい発想で教育活動ができないものか、目下検討中であります。この面での先進校の視察もしたいと計画しています。
フランスの思想家 j.j.ルソーは著書『エミール』の中で、「農夫のように働き哲学者のように考える」子どもが理想の子ども像だと書いています。すなわち、学力、学ぶ意欲、体力、規範意識、モラル・人間的な豊かな感情、そして「生きる力」をすべての子どもに保障する教育、子どもの人権・学習権・発達権を保障する教育の実現のために、教職員のみなさんには努力していただくこととなります。
当然のことながら、教育委員会は「豊かな感情と知性を育む教育・学習環境を整備」をはじめ、あらゆる支援を惜しみません。役場全体、町全体をあげて共に協力いたします。
- 4 . 学校は地域の中にあり、地域住民と共に歩む“地域に根ざした学校教育”を進めることが必要であり、自然な姿でもあります。地域に開かれた開放的な学校運営、地域のみなさんにお出でいただいてご意見をお聞きし、また授業の講師をしていただけるような関係、地域との太い絆をぜひ作り上げていきたいと願っています。そのためのシステム作りが必要であると考えています。

以上、新しい中学校のビジョンを共に考え合っていく記念すべき第 1 回中学校統合推進委員会開催にあたり、中学校に寄せる私の「夢」の一端を語らせていただきました。

夢の実現に向けて全力を尽くすことを誓い、私の話を結びます。



第1回統合推進委員会・部会活動報告

11月12日(水)午後7時より、高原中学校にて第1回統合推進委員会・部会が開催され、新中学への第一歩を踏み出しました。

今回は、委員会・部会の構成員と各部会での協議事項についてお知らせします。

統合推進委員会

教育長	小林洋文
高原中校長	鈴木 清
南中校長	荻原 勝
南諏校長会	上野博子
高原中教頭	宮坂 享
南中教頭	宮下寿男
高原中教務主任	笠井みゆき
南中教務主任	両角 太
高原中事務	田中 光
南中事務	西村奈美江
高原中PTA会長	矢沢輝仁
南中PTA会長	植栗徳良

< 統合推進委員会 >

中学校統合にむけた検討事項について総括していきます。

< 協議事項 >

委員長：小林洋文(教育長)

部会審議内容の把握をはじめ、スケジュール概要を示すことの必要性について話し合いました。

また、町ぐるみで新中学をつくってゆくために、統合に関する情報も、随時発信していきます。

校名部会

南中教頭	宮下寿男
高原中教頭	宮坂 享
高原中PTA推薦	小松 修
南中PTA推薦	玉田寛清
一般公募	前田清美
有識者	小林国廣
有識者	平出静子
高原中評議員	細川忠國
南中評議員	有賀直人

< 校名部会 >

校名決定の方法について、協議していきます。他の部会でも校名の決定が必要な場合も予想されるので、調整しながら進めます。

< 協議事項 >

部会長：宮下寿男

校名の検討方法について意見交換をしました。



校歌部会

有識者	米山 徹
高原中教員	行田実喜子
高原中教員	柳澤貴美
南中教員	小林朗子
南中教員	原 隆弘
高原中PTA推薦	雨宮祐子
南中PTA推薦	名取元子
有識者	五味紘一
高原中評議員	矢沢あさよ
南中評議員	小林洋子

< 校歌部会 >

新中学校の校歌について考えていきます。

地域に愛される校歌となるよう、協議を進めます。

< 協議事項 >

部会長：米山 徹(富ヶ丘)

校歌への各々の思いについて、意見交換をしました。

次回は近隣の校歌を聴き、統合中学校の事例を共有します。



校章部会

高原中教員	山崎謙二
高原中教員	川勝克仁
南中教員	桑田育美
南中教員	内田修平
高原中PTA推薦	大上弘太郎
南中PTA推薦	功刀喜朗
有識者	下山 力
高原中評議員	吉田 一
南中評議員	平出典子

< 校章部会 >

統合中学校のシンボルとなる校章について協議を行います。

< 協議事項 >

部会長：山崎謙二

自由に発言していく中で今後の部会の方向性が見えてきました。今後はデザインの決定方法について協議していきます。



制服部会

高原中教務主任	笠井みゆき
南中教員	竹内紀美江
富士見小PTA推薦	五味博光
高原中教員	菅沼八重子
高原中教員	古畑敦史
高原中教員	山田有理子
南中教員	畠山 薫
南中教員	西村克彦
南中教員	橋立千恵子
高原中PTA推薦	小松恵美子
南中PTA推薦	石井陽子
本郷小PTA推薦	上原三智代
境小PTA推薦	中山かんな
落合小PTA推薦	川窪里恵
公募保護者	有賀めぐり

< 制服部会 >

新中学校の制服について考えていきます。

生徒や保護者の意見を取り入れ且つ生徒にも関わってもらいながら決定に向け協議していきます。

< 協議事項 >

部会長：笠井みゆき

副部会長：竹内紀美江・五味博光

今回の部会では、制服について各々の経験や制服に対する思いなど意見交換をしました。



通学部会

有識者	内藤好昭
高原中PTA推薦	矢沢輝仁
南中PTA推薦	富士原清子
富士見小PTA推薦	新田隆彦
本郷小PTA推薦	小池高德
境小PTA推薦	田宮由実子
落合小PTA推薦	中山真美
有識者	伊藤成八
有識者	有賀孝蔵
有識者	折井金興

< 通学部会 >

生徒の通学方法、通学路、通学の安全などを検討していきます。

< 協議事項 >

部会長 内藤好昭（小六）

通学状況・近隣市町村の状況などを確認し、話し合いを行いました。

バスとJRの活用も含め、総合的に新中学校の通学方法検討をすることとしました。

< 生徒の意見をきくために >

「校名」「校歌」「校章」「制服」「通学」等の各部会では、生徒の意見を反映させる為、各部会が必要に応じて生徒にオブザーバーとして参加してもらうこととしています。また、教育長を囲んで車座集会を開きます。南中は12月4日（木）、富士見高原中は12月中（日時未定）教育委員もオブザーバーとして各部会に参加します。



「教育課程編成部会」「施設備品部会」「部活動支援部会」については、検討事項がまとまった段階でお知らせします。

中学校統合推進委員会では、委員会・部会での検討内容等を町ホームページにも掲載します。

<http://www.town.fujimi.nagano.jp/>